

## アウターボディカバー（高級素材）取扱説明書

### 〈純正BODY COVERの特徴〉

#### ●防炎加工（難燃性）採用

生地は、ポリエステル100%厚織り生地を使用し、コーティング加工時に防炎加工を施した（公財）日本防炎協会の防炎性能試験基準合格品です。



### 注意

#### ●不燃製品ではございません

火気の近くでのご使用は絶対にしていただき。

故意又は過失により万一火災が発生いたしましても、弊社は一切の責任を負いかねます。

#### ●完全防水ではございません

完全防水にすると水蒸気がこもり塗装をいためる恐れがあるため、完全防水にはしておりません。

従いまして、カバーを装着中に、雨でボディがぬれる事があります。

#### ●強風時は使用しないでください

・本製品は、織物で多少凸凹がありますので風の影響を受けてボディに擦り傷をつけたり、カバーを傷める可能性があります。

又、カバーの飛来により思わぬ事故が発生する場合があります。

・ボディとカバーの間で、ほこり・砂等がボディに擦り傷をつける可能性があります。

#### ●素材加工について

・表面はカラー（シルバー）撥水コーティング加工が施してあります。

ご使用の際は必ず表面を上にしてご使用ください。

・裏面はボディに優しいソフト起毛加工が施してあります。

起毛工程時に発生する浮遊糸（細かい糸くず）が製品完成後にも、若干残留している場合があります。ご使用状況によって、2週間～1ヶ月程この残留糸により、お車に白い綿のような物が付着する場合がありますが、人体・お車にも無害ですので予めご了承ください。残留糸は洗車していただければ簡単に除去できます。尚、雨が降った後、長時間カバーを掛けられた場合、ワックス・洗車溶剤等の残留物に、残留糸が付着して取れにくくなる場合がありますので、ご注意ください。

#### ●アウターボディカバーの寿命についての注意事項

本製品は防炎加工（難燃性）を施した生地を使用しております。

ご使用中の紫外線・酸性雨等により、表面樹脂コーティング層が通常のカバーと同様に劣化して参ります。劣化速度は、ご使用条件・環境により大きく異なりますが、コーティング面の光沢が無くなり、カバー表面並びにカバー使用後のボディに白い粉のような物が見受けられた場合は、カバーの寿命です。そのカバーのご使用はおやめください。

尚、白い粉は微粒子の防炎剤で、人体や車両の塗装面には無害です。

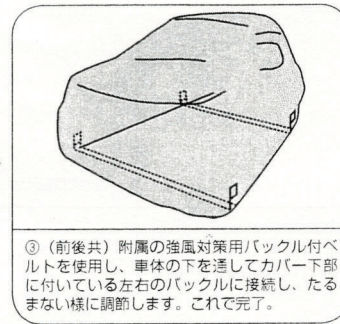
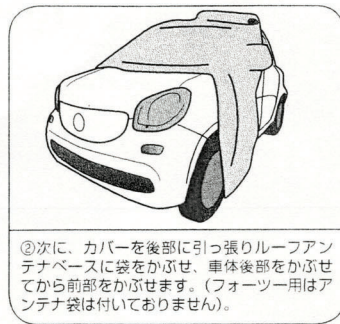
販売元 メルセデス・ベンツ日本株式会社

住所 東京都品川区東品川四丁目12番4号  
品川シーサイドパークタワー

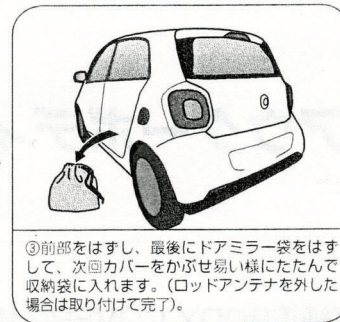
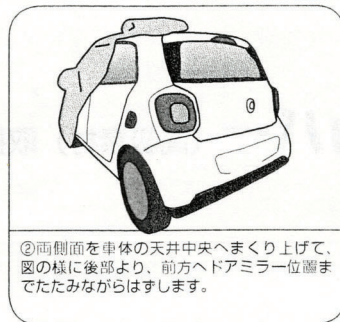
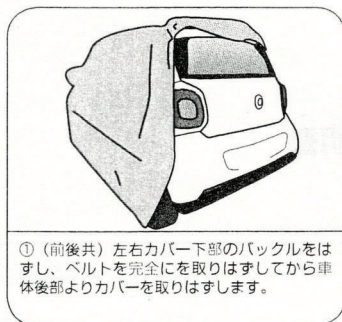


# 取り扱い方法

## (カバーをかぶせる場合)



## (カバーを取りはずす場合)



※ロッドタイプのアンテナ装着車は、アンテナベースからロッドを外してご使用ください。(外したアンテナロッドは忘れない様に保管してください)。オプションの可倒式アンテナ装着車は前方へ倒してご使用ください。

## 注意

### ●火災に関する注意事項

本製品は防災加工(難燃性)を施した生地を使用しておりますが、不燃製品ではございません。従いまして、故意又は過失により万一火災が発生いたしましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

### ●塗装保護に関する注意事項

- ・本製品は、完全防水ではございません。従いまして、カバーを装着中に雨でボディがぬれる事があります。
- ・ボディの塗装面は酸性雨・紫外線等で、ひび割れ、或いは極小な穴ができ、そこから水分が水蒸気となって塗装内部に入り、しみの様な模様ができる事がありますので、夏場の様に塗装面の水が水蒸気になり易い場合、又は長期間装着したまま放置する場合は、必ずボディの水をよくふきとってからカバーをかけて下さい。又、雨のあとは、一度カバーを取りはずしボディがぬれていないかを確認めて、ぬれている場合はよくふきとってからカバーをかけて下さい。
- ・万一、白いしみの様な模様ができただけの場合、カバーの使用をやめ、炎天下で2~3週間放置すれば薄くなります。
- ・再塗装車及びノンワックスコーティング加工車の場合、完全なる処理がなされていないと塗装内に溶剤が残り、完全に乾燥・定着していませんので、カバーをかけると塗装面にカバーの生地目がついたり、前記のしみの様な模様ができる事があります。塗装が十分に乾燥・定着しているかをご確認の上、カバーをかける様にして下さい。
- ・レザートップ車の場合、可塑性・安定剤等各種の化学薬品が含まれており、表面変化を起こす場合がありますので、十分にご注意下さい。万一、変化を起こした場合は、ただちにカバーの使用をおやめ下さい。

### ●その他使用にあたっての注意事項

- ・走行後、マフラーが熱くなっておりますので、マフラーが冷えてからカバーをかけて下さい。マフラーが熱い状態でカバーが接触すると、カバーが溶ける恐れがあります。
- ・カバーを取りはずす場合、前後共にベルトを完全にとりはずしてからカバー本体を取りはずして下さい。バックルが車体を傷つける恐れがあります。

### ●手入れ上の注意事項

- ・カバーにゴミや汚れが付くと撥水効果がダウンします。
- ・お車を洗車される様に、水又はぬるま湯で汚れを洗い流して下さい。尚、洗濯機・洗車機は、絶対に使わないで下さい。コーティング面がはがれる恐れがあります。
- ・中性洗剤以外の洗剤(ベンジン・シンナー等)は絶対に使わないで下さい。コーティング面がはがれる恐れがあります。
- ・カバーを良く乾かしてからご使用下さい。

※ボディカバー使用上のご注意について、充分内容をご理解の上、正しいご使用をお願いいたします。

正しくご使用されずに起きた事故につきましては、補償いたしかねますので、くれぐれもご注意をお願い申し上げます。



## 固定式コーナーポール装着車にご使用になる場合

●固定式コーナーポール装着のお車は下記の要領で、スリット部分をカットしてポールを出してご使用ください。

カバーのフロントコーナー対象部分に、コーナーポール対策用の補強クロスが縫い付けてあります。

カバー表面より、補強クロスのスリット部分を図のように、ハサミもしくはカッターナイフでカットしてご使用ください。

機能上、切った部分より若干の漏水がありますが、あらかじめご了承ください。尚、非装着車は現状のままでご使用いただけます。



### 注意

スリット部分以外の部分を切らない様に、ご注意ください。

危険ですので、車輻に装着したままでの作業はしないでください。

